

事務事業名	物産会館管理運営事業				担当	産業環境部 商工観光課 観光係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			電話番号	83-8135		
施策名	04	観光の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠						<input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成6 年度~)		
予算科目	1.一般会計	7.商工費	1.商工費	3.観光費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~ 年度)		
事業概要	旧岡部呉服店の建物の歴史を広く公開するとともに、市内に点在する特産品の集約展示、販売及び市内の観光施設並びに史跡等の案内を行うことによって、広く特産品のPRと販路開拓を促進するとともに真岡市のイメージアップを図り観光情報の拠点とするため、真岡市物産会館の管理運営を真岡市観光協会に委託している。旧岡部呉服店の建物は、岡部氏からの寄付を受け、土地は購入して市(文化課)が管理しており、平成15年2月に市登録文化財に指定された。真岡市観光協会が市と使用貸借契約を締結して、真岡市物産会館として無償で借り受けることにも、管理業務契約を締結して真岡市物産会館の日常管理と市内に点在する特産品の集約展示、販売及び市内の観光案内を行っている。<開館日>火曜日と年末年始を除く全日 <開館時間>午前10時から午後5時 <販売員>真岡市観光協会の臨時職員2名の交代勤務 <管理業務内容>市内観光案内及び特産品の委託販売 <販売手数料>販売額の15% 平成23年3月11日の震災により、倒壊のおそれがあるため閉館し解体計画となった。							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段(主な活動)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)の推移						
22年度実績 真岡市物産会館を真岡市観光協会に管理委託、真岡市物産会館の臨時職員の雇用、維持管理費の支払い事務		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 委託料	千円	3,473	3,322	2,099	1,664	1,631
		イ 会館日数	日	310	312	312	312	225
		ウ						
		エ						
		オ						
23年度計画 平成23年3月11日の震災により、倒壊のおそれがあるため閉館し解体、観光協会が仮設のプレハブをリースし店舗として営業の再開を計画。								
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)の推移						
真岡市物産会館。		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 真岡市物産会館の延床面積	m2	220	220	220	220	220
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦成果指標(対象における意図された対象の程度)の推移						
特産品の展示・販売、観光情報の提供 たくさんの人に市内の観光施設と特産物を知ってもらい、消費に繋げる。 H22入館者数17,974人内訳:市内31%、市外69%		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 真岡市物産会館の入館者数	人	10,933	18,045	17,062	17,974	10,000
		イ 委託販売額	円	4,861,410	5,968,890	5,132,389	6,013,862	4,200,000
		ウ						
		エ						
		オ						
④結果(どんな結果(上位施策)に結びつけるのか)		⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)の推移						
観光情報の発信により観光振興を図る。		名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
		ア 真岡市を訪れた観光客数	人	1,899,162	1,936,456	2,784,799	2,806,703	2,500,000
		イ						
		ウ						
		エ						
		オ						
(2) 総事業費の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	1,613	3,405	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	3,473	3,322	2,099	1,664	0
		事業費計(A)	千円	3,473	3,322	3,712	5,069	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	3	3	0
		延べ業務時間	時間	80	80	80	80	0
		人件費計(B)	千円	335	334	324	341	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	3,808	3,656	4,036	5,410	0

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か? いったいどんな経緯で開始されたのか?	市内に点在する特産品の集約展示・販売及び市内観光情報の拠点とするため、物産会館の管理運営を真岡市観光協会に委託して平成6年10月に開館した。
②事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	平成18年度から旅行者(クラブツーリズム)とタイアップして、真岡の三大夏祭りのバス誘客事業を実施した。平成19年度は真岡木綿の振興と織姫の育成及び物産会館、岡部記念館「金鈴荘」を一体にした本市観光の拠点施設として木綿工房を建替えて平成20年度に真岡木綿会館を整備した。 平成21年度7月から平成23年度まで、ふるさと雇用により人件費が県から支払われている。 平成23年3月11日の震災により、倒壊のおそれがあるため閉館し解体することになった。観光協会が仮設のプレハブをリースし店舗として営業の再開を計画。
③この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	真岡木綿会館が商工会議所で指定管理者となっており、金鈴荘の管理も受けているので、真岡市物産会館とあわせ3施設を一元管理にすれば合理的との意見がだされている。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 観光振興の拠点となり情報提供と観光案内を行っており、市の施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 市が行う観光情報の発信を観光協会に委託して物産会館で実施しており関与は妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 特産品の集約展示・販売及び市内観光情報の拠点である物産会館は、真岡市の観光振興に寄与し適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 3月11日の大震災に伴い廃止したため、これまでの成果を踏まえ「新たな物産会館」の整備に取組んでいく必要がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 物産会館は観光情報の拠点となっており、情報発信と特産品の販売が出来なくなり、観光振興に影響がある。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 物産会館は解体となるため、新たな物産会館整備の中で検討していく。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 物産会館は解体となるため、新たな物産会館整備の中で検討していく。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 物産会館は解体となるため、新たな物産会館整備の中で検討していく。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続 新たな物産会館の整備に取組んでいく必要がある。	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項 物産会館の設置主体、管理、場所、規模等広範囲に検討する必要がある。																							